

議題 2（委員会決裁事項（規則第 3 条第 1 号））

文理学科の拡充について

平成 28 年度より、グローバルリーダーズハイスクールの文理学科を拡充することについて、別紙のとおり決定する。

平成 27 年 2 月 20 日

大阪府教育委員会

グローバルリーダーズハイスクールの文理学科の拡充について

下記の2校について、平成28年度入学生よりすべての学級を文理学科として募集する。

大阪府立北野高等学校	大阪市淀川区
大阪府立天王寺高等学校	大阪市阿倍野区

1 経緯

府教育委員会は、グローバルリーダーズハイスクール評価審議委員会の事業評価を受け、平成26年9月に、「グローバルリーダーズハイスクール（GLHS）の事業検証報告及び平成27年度以降の指定」を公表した。その中で、今後の指定校における文理学科の拡充についての考え方を示した。このことを踏まえ、平成28年度からの文理学科の拡充について今般決定するものである。

2 決定理由

- ① 全学年の共通テストの結果及び進路の実績調査から、学習指導要領で定められた標準（普通科）を越えた、難度の高いカリキュラムに十分対応できる生徒が、全学的に在籍していること。
- ② GLHS 評価審議会において、平成23～25年度までの3か年の事業評価（参考資料参照）において、両校とも高い評価（北野高等学校10点満点中9点、天王寺高等学校10点満点中10点）を受けており、特に「これまでのパフォーマンス及び今後の伸長を鑑み、文理学科の拡充など、GLHS の中枢の役割を果たし、事業の推進を担う学校として、さらなる成果を期待するものである」とのコメントを得ていること。
- ③ 普通科においても、文理学科に匹敵する課題研究活動をはじめ、質の高い教育活動を行っていること。

3 募集人員

当校の募集人員については、平成27年11月に決定する。

なお、文理学科の学級数の拡大に伴い、当校の普通科の募集を停止する。

4 今後の文理学科の拡充について

GLHS において、文理学科のカリキュラムに対応できる生徒数や学校の指導体制等を総合的に勘案し、今後の拡充について検討する。

グローバルリーダーズハイスクール評価審議委員による 平成23年～平成25年の3か年の事業評価

学校名	自己評価 (換算点)	実績評価 (換算点)	総合評価	コメント	課題
北野	AA (4)	AAA (5)	9	極めて高い目標を掲げながらも、それを上回る進学実績を上げたことを高く評価する。大阪のみならず、日本を代表する高校として、様々な分野で社会に貢献し、世界を動かすグローバルリーダーの育成に努められたい。 なお、これまでのパフォーマンス及び今後の伸長を鑑み、 文理学科の拡大など、GLHSの中枢の役割を果たし、本事業の推進を担う学校として、さらなる成果を期待するものである。	読解力・科学的リテラシーに課題が見られ、今後はコンクール等への積極的な参加を求める。
豊中	A (3)	A (3)	6	多岐にわたる学力向上策を具体化し、講演会、土曜セミナー、授業成果発表会などの実践は、着実に成果を上げており、生徒の満足度も高く評価に値する。授業改善の取組の結果、指導力の向上の成果が上がってきているが、さらに継続されることを求める。 今後は文理学科設置のメリットを最大限活用し、GLHS校としての成果を上げられたい。	読解力・科学的リテラシーに課題が見られ、今後はコンクール等への積極的な参加を求める。 また、英語運用能力についても、TOEFLへの取組が十分とはいえず、工夫を求める。
茨木	A (3)	AA (4)	7	人材育成の豊かな素地が伝統的にあり、リーダー性を育み、自主自律の精神が醸成される取組ができています。さらに、グローバル人材に不可欠な「人間力」「自己管理能力」を育む基盤も備えられ、高く評価できる。教員の指導力の向上については、さらに継続されることを求める。 なお今後は、文理学科と普通科の切磋琢磨により、更なる成果の拡大を期待する。	英語運用能力について、TOEFLへの取組が十分とはいえず、工夫を求める。
大手前	AA (4)	A (3)	7	理数科の設置、GLHSの指定と学科改編を経つつも、それぞれ前の事業を活かし、グローバルリーダー育成の取組の充実が見られる。進学実績については、高い目標をかかげながらも、よく健闘している。これからも高みをめざす進路指導を継続されたい。 なお今後は、文理学科と普通科の切磋琢磨により、更なる成果の拡大を期待する。	英語運用能力について、TOEFLへの取組が十分とはいえず、工夫を求める。
四條畷	A (3)	A (3)	6	地域に育まれてきた歴史と文化、豊かな環境のもと、学校には充実した教育資源がある。それらを活用した課題研究をはじめとして、学習合宿、海外研修など生徒の視野を広げる取組を行っている。進路実績についてはまだ伸長の余地があるとみられ、成果を期待する。 なお今後は、文理学科設置のメリットを最大限活用し、GLHS校としての成果を上げられたい。	読解力・科学的リテラシーに課題が見られ、今後はコンクール等への積極的な参加を求める。 また、英語運用能力についても、TOEFLへの取組が十分とはいえず、工夫を求める。
高津	A (3)	B (2)	5	建学の精神「自由と創造」を掲げ、主体的に判断、行動する生徒を育成する取組が十分に行われている。進学一辺倒ではない、社会とのつながりを大切にする活動は、グローバル人材の素地を育む実践となっている。教員の指導力の向上について、また進学実績について、一層効果のある取組を期待する。 なお今後は、文理学科設置のメリットを最大限活用し、GLHS校としての成果を上げられたい。	英語運用能力について、TOEFLへの取組が十分とはいえず、改善を求める。 また、進路実績について、取組に工夫の余地があり、実績の伸長を求める。
天王寺	AAA (5)	AAA (5)	10	10校共通の様々な取組では常にリーダー校の役割を果たしてきた。極めて高い目標を掲げ、生徒の育成と進路実現に取り組んでおり、高い評価がふさわしい。今後は、強者の教育に偏ることなく「全人教育」に取り組まれたい。 なお、これまでのパフォーマンス及び今後の伸長を鑑み、 文理学科の拡大など、GLHSの中枢の役割を果たし、本事業の推進を担う学校として、さらなる成果を期待するものである。	英語運用能力について、TOEFLへの取組が十分とはいえず、工夫を求める。
生野	A (3)	A (3)	6	校長のリーダーシップのもと、校内組織がうまく機能しており、活発な部活動と学習を両立させる意識が教員にも生徒にも定着している。3年間の生徒の伸長はめざましく評価に値する。2年次の学力についてはまだ伸長の余地があるとみられ、更なる取組に期待する。 今後は文理学科設置のメリットを最大限活用し、GLHS校としての成果を上げられたい。	英語運用能力について、TOEFLへの取組ができておらず、改善を求める。 また、進路実績について、取組に工夫の余地があり、実績の伸長を求める。
三国丘	A (3)	A (3)	6	英語活用能力の育成については、成果が上がっており評価に値する。伝統校ならではの、卒業生を活用した志を育む活動は、生徒に将来像を描かせるよい機会となっている。授業力向上をはじめ、各種の取組が高いレベルで実施できているが、進路実現にむけてのカリキュラム開発など、更なる高みをめざした再編等を期待する。 今後は文理学科設置のメリットを最大限活用し、GLHS校としての成果を上げられたい。	読解力・科学的リテラシーに課題が見られ、今後はコンクール等への積極的な参加を求める。 また、英語運用能力についても、TOEFLへの取組が十分とはいえず、工夫を求める。
岸和田	A (3)	B (2)	5	地域からの信頼が厚く、学校もそれに応えるべく、生徒を育成するサポート体制を整えている。また、国際交流や研究発表など、外部との交流も積極的に行っている。人材育成プログラムの実践はすばらしく、この3年間の成果が示されたことを評価する。地元志向が強いと聞けが、現役合格にとらわれず、高みをめざす進学指導の継続を求める。 今後は文理学科設置のメリットを最大限活用し、GLHS校としての成果を上げられたい。	読解力・科学的リテラシーに課題が見られ、今後はコンクール等への積極的な参加を求める。 また、英語運用能力についても、TOEFLへの取組が十分とはいえず、工夫を求める。 さらに、進路実績について、取組に工夫の余地があり、実績の伸長を求める。